岡谷市塩嶺野外活動センター使用料の減免基準

岡谷市塩嶺野外活動センター条例（平成14年岡谷市条例第15号）第7条の規定に基づき、塩嶺野外活動センターの使用料を減免する場合の審査基準は、下記のとおりとする。

1. 減免できる使用料は、センターハウス使用料及びキャンプ場使用料とする。
2. 減免申請がされた場合の審査基準は、下記のとおりとする。

減免できる範囲	減免できる額	
	キャンプ場 使用料	センターハ ウス使用料
(1) 岡谷市又は岡谷市教育委員会の主催事業で使用する場合	使用料の 100% の額	使用料の 100% の額
(2) 市内小中学校の授業、行事で使用する場合 (教師が引率する部活動を含む)		
(3) 市内幼稚園又市内保育園並びに市内養護施設の授業、行事で使用する 場合		
(4) ①身体障害者手帳所持者 ②療育手帳所持者 ③精神障害者福祉手帳所持者 ④①及び②のうち、第1種に区分される障害者1名につき介護者1名 ⑤④以外の障害者で、特に介護が必要と認める者1名につき介護者1名 ⑥①から③が主たる構成員で、障害者の社会参加や活動促進を目的とす る団体 上記①から⑥に該当する者が使用する場合		
(5) 岡谷市又は岡谷市教育委員会の共催事業で使用する場合	/	
(6) 市内の青少年育成団体等が青少年の野外活動のため使用する場合 (減免対象となる市内の青少年育成団体) 子ども会育成連絡協議会、PTA連合会、地域子(己)育てミニ集会、少年愛護 協議会、青少年団体連絡協議会加盟団体、ボーイスカウト、スポーツ少年団、子 ども劇場、ガールスカウト、その他全市の規模の団体で地区や学校単位で使用する 場合		
(7) その他特に市長が認めた場合 ((4) 以外の市外の利用者及び団体は含まない。)	使用料の 50%以内の額	

この審査基準は、平成25年4月1日から適用する。